

れども一時に頓死して閻魔のせめにあわせ給。いかなりけるゆへとも人しらず。日蓮此をかながへたるに本は法花経の行者なりしが、大日経を見て法花経にまされりといぬしゆえなり。されば舍利弗・目犍連等が、三五の塵点劫を経しことは、十悪・五逆の罪にもあらず、謀反八虐の失にてもあらず。但悪知識に値て法花経の信心をやぶりて、権経にうつりしゆへなり。天台大師釈云、**若し悪友に値えば則ち本心を失う**云云。本心と申は法花経を信ずる心なり。失と申は法花経の信心を引かへて余経へうつる心なり。されば经文云、**然も良薬を与うるに而も肯て服せず**等云云。天台云、**其れ心を失う者は良薬を与うと雖も而も肯て服せず**。生死に流浪し他國に逃逝す云云。されば法花経を信ずる人のをそるべきものは、賊人・強盜・夜打・虎・狼・師子等よりも、当時の蒙古のせめよりも、法花経の行者をなやます人々なり。

此世界は第六天の魔王の所領なり。一切衆生は無始已来、彼魔王の眷属なり。六道の中に二十五有と申るうをかまへて一切衆生を入のみならず、妻子と申ほだしをうち、父母主君と申あみをそらにはり、貪・瞋・痴の酒をのませて仏性の本心をたばらかす。但あくのさかなのみをすゝめて三惡道の大地に伏臥せしむ。たまく善の心あれば障碍をなす。法花経を信ずる人をはいかにもして惡へ墮とをもうに、叶ざればやうやくすかささんがために相似せる花嚴経へとしつ。杜順・智儼・法藏・澄觀等これなり。又般若経へとしつ。嘉祥・僧詮等これなり。又深密経へ墮つ。玄奘・慈恩此なり。又大日経へ墮つ。善無畏・金剛智・不空・弘法・慈覺・智勝等これなり。又禪宗へ墮。達磨・慧可等是也。又觀経へす